

「医療情報の公開・開示を求める市民の会」

設立10周年記念シンポジウム

医療の闇に立ち向かう

証拠隠滅・事故隠し・カルテ改ざん・不正請求・医師法違反...
長年放置されてきた医療の闇に、市民の力で光を当てよう!

日時：2006年4月1日(土) 午後 13:30 ~ 16:45

場所：エル大阪(大阪府立労働センター)6階大会議室

(京阪電車または地下鉄谷町線「天満橋駅」下車、西へ徒歩約5分。 06-6942-0001)

— <はじめに> 設立10周年記念特別講演 —

「医療の情報公開」この10年の運動の成果と今後の課題(約20分)
~カルテ・レセプト開示から病院情報・行政情報の公開、厚労省交渉の経過等~

勝村久司(「医療情報の公開・開示を求める市民の会」世話人・前事務局長)

— <第1部> 医療被害者による実態告発 —

「陣痛促進剤による被害を考える会」代表の出元明美さん、「医療情報の公開・開示を
求める市民の会」新事務局長の山中裕子さんをはじめ、隠されてきた医療犯罪と闘い
続ける患者・被害者ら市民5名による、あまりにひどい医療の闇の実態報告。(約40分)

— <第2部> 医師・弁護士らによる講演 —

医療関連死の真実に迫る~解剖医の立場から~(約30分)

山本啓一さん(医師、山本医学鑑定研究所所長、元京都大学医学部法医学教室助教授)

「公益通報者保護法」施行!どう生かすか、課題は何か。(約15分)

岸本達司さん(弁護士、「カルテ改ざん」全国弁護士アンケート担当グループ)

— <第3部> パネル・ディスカッション —

隠された医療犯罪を放置せず「被害から学ぶ医療」を実現するために
第1部の出元さん、第2部の山本医師、岸本弁護士の他、「カルテ改ざん」(04年11月発行)、
「カルテ改ざんPart」(06年1月発行)編著者の石川寛俊弁護士や、医療犯罪と闘う多くの患
者・被害者の支援を続けておられる「医療情報の公開・開示を求める市民の会」世話人の岡本
隆吉さんを中心に、会場の皆さんと共にディスカッションします。(司会進行:勝村久司)

予約不要で、どなた様でもご自由にご参加頂けます。(会場定員200名)

受付：PM13時~、参加費：1000円(資料代込)、お問い合わせは下記まで。

主催：「医療情報の公開・開示を求める市民の会」

()090-8529-7016(X-ル)cz102077@nifty.com(HP)http://homepage1.nifty.com/hkr/simin/

共催：「陣痛促進剤による被害を考える会」「医療過誤原告の会 関西支部」